

令和7年1月19日(日)
大崎タイムス掲載

ことし1年を無災害で

宮城労基協 古川支部 130人出席し安全祈願祭



玉串をささげ労働災害ゼロを祈る木田支部長

宮城労働基準協会古川支部（木田秀隆支部長）の産業安全祈願祭が16日、大崎市古川のアインパルラ浦島で開かれ、神事を行ったことし一年の無災害を祈った。

祈願祭には、同支部の事業所代表者や大崎市、古川労働基準監督署などから130人ほどが出席。神事では小野寺昭彦副支部長が

「安全で快適な魅力ある職場づくりに向け、全員の英知を結集し全力でまい進する」と誓う宣言文を神前で読み上げ、木田支部長らが玉串をささげて安全を祈った。

木田支部長は「現場の声を取り上げて改善を図り、労働災害ゼロを目指し、明るい一年にしたい」とあいさつを述べた。

また、相澤隆之古川労働基準監督署長が、管内における昨年の労働災害発生状況について説明。それによると、休業4日以上死傷者数は258人（前年比15人減）で、このうち死者は1人（同2人減）だった。相澤署長は安全教育の充実を図り、労使一体で災害を減らす努力をしてほしい」と求めている。

また、相澤隆之古川労働基準監督署長が、管内における昨年の労働災害発生状況について説明。それによると、休業4日以上死傷者数は258人（前年比15人減）で、このうち死者は1人（同2人減）だった。相澤署長は安全教育の充実を図り、労使一体で災害を減らす努力をしてほしい」と求めている。